



慈恩寺小学校田植え

市内の各地の小学校で、田植えが行われました。

西有家町、慈恩寺小学校では、6月30日(月)に学校裏の水田で全校児童40人が、田植えを行いました。一列に並び稲を植えていく子ども達の表情は真剣そのもの。梅雨明けを思わせるさわやかな太陽の光をいっぱい浴びながら、子どもたちは毎日食べるご飯の大切さを感じていたようでした。

豊年エビ 田んぼの中に時折見かける小さなエビ。これは「豊年エビ」と呼ばれ、この名前の由来は、「多く見かける年は豊作になるから」とされています。あちこちで「見つけたよ」と言う大きな声。子どもたちの明るい声が、豊作を運んでくれそうな、そんな夏下がりでした。



南島原市有機農業推進協議会

6月30日(月)、ありえコレジヨホールで南島原市有機農業推進協議会が設立されました。

これは、有機農業経営を行う生産者同士の連携を図ることを目的に設立され、国の有機農業総合支援対策事業によるモデル地区として選定されたもので、県内では初めて。関係者の皆さんの今後の取り組みが期待されます。

まちの話題

Minami Shimabara City My Town Topics



世界遺産登録の早期実現を

世界遺産登録PRグッズ

市では、南島原市の構成3資産の周知を図るためのPRグッズを6月25日(水)に発表しました。

市では、「南島原市から世界遺産を！」を合言葉に、南島原市の構成3資産を含む長崎の教会群とキリスト教関連遺産の世界遺産登録に向けて、さまざまな取り組みを行って、今回のPRグッズ製作は、その一環として行われたものです。

PRグッズは、法被50着、のほり400枚、ステッカー1000枚、名刺台紙1万枚で、現在、市内外のイベントで活用しています。今後は懸垂幕やポスター、絵葉書などの作成も予定しています。



手話奉仕員養成講座が開講

6月24日(火)、西有家町 総合学習センターカマスで手話奉仕員養成講座を開講しました。当初、市で想定していた募集人員25名をはるかに超える38名の応募がありました。受講生は、「聴覚に障害を持つ人が、家庭や地域で普通に暮らせるように」と参加された人も多く、聴覚障害者の講師から学ぶ「生きた手話」に真剣な眼差しで参加していました。今後は、聴覚に障害を持つ人の耳となるべく日常会話程度の手話を学び、数年後に手話奉仕員の登録を目指します。



中島さんありがとうございました

北村西望作「天女の像」受贈

7月8日(火)、北村西望の作品「天女の像」を長崎市在住の中島健二さんからいただきました。市の「ふるさと応援寄附」を知った中島さんは、「市民の皆さんにぜひ見ていただき、西望先生ゆかりの地である南島原の活性化につなげて欲しい」と寄附を決意。

「天女の像」は円盤型のブロンズ像で朝日に照らされた日本列島の上空を天女が舞う姿が描かれており、昭和53年に3点が制作され、残り2点は成田空港と東京都井の頭自然文化園の彫刻園に展示されています。

中島さん、ありがとうございました。

車椅子ありがとうございました



6月20日(金)に行われた島原地区青年農業者連絡協議会通常総会で、連絡協議会管会長から南島原市、島原市、雲仙市に車イスが寄贈されました。

これは、ふれあい農業祭りの地域農産物等即売収益金で購入されたもので、今後は有効に活用させていただきます。

もつと南島原ツアー第1弾開催！

6月22日(日)、南島原市が世界に誇る、世界文化遺産暫定一覧表にも掲載されている構成3資産『原城跡』『日野江城跡』『吉利支丹墓碑』を地元ガイドと一緒に巡るツアーを開催しました。



ツアー当日は、あいにくの雨にも関わらず40名の皆さんが参加されました。参加者の中には「自分の身近なふるさとに、こんなに貴重な宝物があることを改めて実感でき、知っているようで知らないふるさとを再発見できました。」との声もありました。

今後も南島原ツアーを計画していますので、市民の皆さん奮ってご参加ください。(詳しくは8・9ページへ)

私たちの海をきれいに 口加高校生海浜清掃



7月2日(水)、県立口加高等学校の生徒は、加津佐の前浜海水浴場など4箇所の砂浜で清掃活動を行いました。加津佐町野田浜海水浴場では、1年生180人と障害者入所更生施設「八雲寮」の入寮者などが協力して作業を実施。交流を深めました。作業をしていた3年生の一人は「今年で最後。がんばらなきゃ」と流れ着いた竹やごみなどを一生懸命運び出していました。

宝くじ助成事業で太鼓を購入

子供瀬詰太鼓

口之津町の太鼓演奏団体「子供瀬詰太鼓」が、平成20年度一般コミュニティ助成事業で新しい太鼓を購入しました。この事業は、宝くじ受託事業収入を財源とした自治総合センターの助成事業で、地域住民のコミュニティ活動を活性化させることを目的とした宝くじの普及広報事業です。

今回、新しい太鼓を購入したことで、一層地域に根ざした活動の展開が期待されます。



着物リメイク教室



5月8日～7月10日の毎週木曜日に加津佐町加津佐公民館で着物リメイク教室(全10回)が行われました。これは、思い出がたくさんつまった着物をバッグに替えて愛用すると言う、まさに日本文化を「リメイク」する新しい試みで15人が参加しました。古い着物がみるみる美しいバッグに変わる様子に教室は大盛り上がり。当初の予定では、お祝い用と仏事用の2種類のバッグを作る予定でしたが、多い人は5個以上の作品を作るなど、参加者の熱意が何えます。今後は、自主グループとして活動するなど覚えた技術を、地域で生かしていけることでしょう。